

とちぎマイスター「機械加工（フライス盤作業）」の技能の例

金型製作における基礎技能向上に取り組む

ながしま ひであき
永島 秀章

栃木市 在住

日立アプライアンス株式会社 栃木事業所 生産技術部金型グループ
(TEL 0282-43-1122)

技能五輪と金型製作の経験を生かし若手技能者を育成

(現在の仕事)

生産技術部門で、金型の製造及び工程管理を担当している。また事業所内認定職業訓練校において、技能訓練生にNC加工の教育指導や技能五輪の指導を行っている。

(得意な分野)

長年携わってきた金型の機械加工及び組立の知識や経験を生かし金型の高性能化や品質向上を図り家電製造に寄与している。また現場責任者として若手社員の育成を図ると共に、技能五輪全国大会出場の経験を生かし、現在弊社で出場している「抜き型」職種の取り纏め役として現役選手への指導も行っている。

汎用工作機械による基礎技能の重要性を伝える

機械加工の分野では、NC工作機械による自動化により汎用機械作業が無くなりましたが、機械加工の原点であるフライス盤や旋盤の技能を解らないでNC工作機械を操作しても、レベルの高い作業が行えないことは明白であり、他社との競争で優位に立つためには、どうしても必要な技能である。これから機械加工に携わって

いく若い人には、早い時期に汎用旋盤やフライス盤などの機械加工の基礎を習得し、自分の技能の目安として技能検定にも積極的に挑戦してください。そして、幅広い知識と加工技術を身に付けマイスターとして活躍できる人材になることを期待します。

